

令和 8 年 度

# 事業計画書



**Nara Visitors Bureau**

一般財団法人 奈良県ビジターズビューロー

## 目 次

地域に愛され、地域を元気にするDMOを目指して .....	1
(事業の内容)	
I 魅力ある観光地域づくり(DMO)推進事業 .....	3
1 地域ネットワーク構築事業	
2 奈良県観光キャンペーン事業	
3 地域に愛され安心して案内できるガイドの育成事業	
4 地域を元気にするコンテンツの企画・開発事業	
5 コンサルティング・受託事業	
II インバウンド・国内旅行商品等の造成及び販売事業 .....	4
1 旅行商品の企画造成販売事業	
2 海外誘客企画・営業、ファムトリップ実施事業	
3 質の高い奈良の観光旅行商品企画・造成販売事業	
4 オンライン商品販売促進事業	
5 奈良ファン倶楽部企画・運営事業	
6 奈良仏像カレンダー企画・造成販売事業	
7 訪日教育旅行支援事業	
III MICE 誘致・開催支援事業 .....	5
1 コンベンション開催誘致支援事業	
2 国際コンベンション運営事業	
3 コンベンション関連団体連携事業	
IV 観光まちづくり、地域づくりのための各種運営事業 .....	6
1 奈良県観光情報サイト管理運営事業	
2 観光インフォメーションセンター運営支援事業	
3 全国広域観光振興支援事業	
4 各種行事への協賛事業	
令和8年度収支予算書 .....	7

## 地域に愛され、地域を元気にするDMOを目指して

日本は、人口減少とともに国内旅行者が減少傾向となる反面、インバウンド旅行者は増え続けています。今後のオーバーツーリズムや現状の受入環境の観点から、国内外を問わず、マス観光から質の高い観光への転換を図り、観光産業の振興を通じて地域活性化に繋げていくことが我々の大きなミッションであると考えています。

奈良県の観光においては、来訪者は比較的多いものの観光消費が極めて少ないこと（安い）、県の歴史・文化等の資源が持つ奥深い魅力を十分に知ってもらえていないこと（浅い）、県の歴史・文化等の資源のポテンシャルが高いにもかかわらず、来訪者が奈良公園周辺に集中していること（狭い）が大きな課題となっています。

これらの課題を解決するためには、ターゲットを明確にして、ブランディングを行った上で、需要創造につながるプロモーションや、供給強化となるような宿泊施設の誘致、ガイド育成などの受入環境を整備することが必要であり、さらなる好循環を生むように、地域に人とお金の流れをつくり（稼ぐ）、地域の文化や景観を保全して（守る）、人と地域や産業、伝統文化を結び、地域コミュニティの維持・活性化と次世代への継承を図る（繋ぐ）という新たなテーマのもと県観光局と一体となり、エッジの効いた観光施策を前へ前へと進めていく必要があると考えています。

また、紀伊半島全体をひとつの観光エリアと見立てて、県域を越え、和歌山、三重の両県と連携して広域周遊を促すことが、結果的に奈良県内の滞在期間を延ばし観光消費の増加につながるものと考えています。このため、当財団が事務局を務め、県とともに推進している「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業（観光庁）」においては、奈良県、和歌山県、三重県が連携し、広域で

ステーションとして紀伊半島一体でプロモーションを実施して需要創造を行い、その受入環境を整備することにより供給強化を図ることとしています。今年で4年目を迎えますが、これまでの3年間でターゲット国である英、仏、米、豪国のメディアや旅行会社からの注目度は高く、累計93名を受け入れてファミトリップを計画的に実施しており、その結果として、「NATIONAL GEOGRAPHIC TRAVELLER」をはじめとする407件ものメディアでの露出（認知拡大）や、紀伊半島を10日間で巡るツアーなど22件もの旅行商品が造成販売（販路拡大）されるなど、広域デステーションの成果として、紀伊半島エリアが着実に選ばれるようになってきています。引き続き、紀伊半島周辺への需要創造と供給強化を図ることで奈良県での消費拡大に努めてまいります。

さらに、今年は、本県の観光にとって極めて重要で飛躍の年となると考えています。1月に放映が始まった「大河ドラマ『豊臣兄弟！』」や今夏に世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都」など県の中南和エリアが脚光を浴びる年となるため、この機会を逃さず積極的な誘客に努めるとともに、リピーターとなるコアな「奈良ファン」の層を確実に獲得してまいります。

我々は、県全体の経済を活性化することをミッションとして掲げ、農業や林業などの第1次産業、製造業や加工業などの第2次産業、サービスや流通業などの第3次産業を包括するものが観光産業であり、第6次産業であると捉えています。「地域のことは地域でやる」という考えのもと、地域のコンテンツを開発し、地域への送客を実現して地域経済の活性化を支援していくものとしています。最終目標は、地域内循環を誘発し、それぞれの地域への移住定住へつなげるものと考えています。

観光とは「光を観ること」であり、地域の人々が光を観ることができ、地域の事業者が光を観ることができてこそ、旅する人が光を観ることができるものと考えています。引き続き、地域に愛され、地域を元気にする『観光まちづくり』を推進するコンサルティング集団を目指し、精進してまいります。

## I 魅力ある観光地域づくり（DMO）推進事業

### 1 地域ネットワーク構築事業

県及び県内市町村や各地域のDMO、観光協会と連携した上で、様々な社寺や事業者との強力なネットワークの構築を図り、各省庁からの国庫補助を積極的に活用して、需要創造や受入環境整備を進め、地域経済を好循環させるよう取り組んでまいります。

また、奈良への歴史・文化などへの意識が高い良質の旅行者を誘客する観点から、専門的な知見を有する人材を活用し、ホテルの誘致などの旅行者の受入体制の強化や、データ分析などの観光DXを推進し、高いレベルで統一された供給サービスを提供します。

### 2 奈良県観光キャンペーン事業

県との連携をより一層強化し、県が主体として実施する「奈良県観光キャンペーン」と連携し、地域の魅力ある観光資源のプロモーション活動を展開することにより、より販売効果の高い着地型旅行商品の造成につなげていきます。

また、首都圏でのプロモーション効果の高いJR東海の「いざいざ奈良」キャンペーンや、近鉄の「わたしは、奈良派」キャンペーンと連動することにより、奈良の誇る観光資源を活用して、首都圏からの効果的な誘客につなげます。さらに、JR西日本とも連動して、質の高い旅行者の送客に努めます。

### 3 地域に愛され安心して案内できるガイドの育成事業

地域に愛され、旅行者が安心して利用できる通訳ガイドの人材育成を推進するため、まずは通訳ガイド人材バンクを整備します。さらに、ガイドの適正を把握することにより、旅行者のニーズにあわせた人材を紹介するサービスを提供してまいります。

### 4 地域を元気にするコンテンツの企画・開発事業

奈良公園などに集中する旅行者を分散させ、県全体を元気にするため、旅マエを中心に中南和地域などの魅力ある観光資源への周遊を促すコンテンツを県内のホテル事業者と合同で開発してまいります。

県内の伝統工芸や製造業を観光コンテンツと捉え、産業観光の視点で企業研修などの受入を進めます。

受入環境の重要なコンテンツであるホテルがまだまだ不足するため、県観光局と連動して、地域のニーズに見合うグレードのホテル誘致を積極的に展開してまいります。

賛助会員のメリットがわかる取組として、個別施設の体制や環境が可視化できるサービスツールを開発するとともに、賛助会員を含めた観光関係の事業者向けの情報ツールを製作し、地域に直接的に還元できるネットワークの構築を目指してまいります。

## 5 コンサルティング・受託事業

地域連携DMOとして、市町村や観光協会、社寺、観光事業者の課題のほか、広域エリアで抱える観光まちづくりに関する課題の解消を目的として、業務の企画、運営やアドバイスをするコンサルティング業務を行います。また、各種イベントや観光案内所等の管理運営業務を受託することにより、地域経済の活性化につなげてまいります。

## II インバウンド・国内旅行商品等の造成及び販売事業

### 1 旅行商品の企画造成販売事業

海外旅行会社及びランドオペレーターへの営業を行い、県中南和エリアへの周遊を中心にインバウンド向けの旅行商品の造成・販売に引き続き注力し、誘客促進につなげます。

また、旅行者の希望通りに旅をデザインするオーダーメイド型旅行をベースにインバウンド、日本人向けの両面からの旅行商品を造成・販売してまいります。

※ 令和8年度販売目標:31,000 千円

### 2 海外誘客企画・営業、ファムトリップ実施事業

欧米豪のマーケットを中心に、現地旅行会社への営業活動を行います。

さらに、ファムトリップを積極的に実施して関係構築することにより、直接的に旅行商品につながる取組へと発展させてまいります。

### 3 質の高い奈良の観光旅行商品企画・造成販売事業

当財団が実行委員会の事務局を担い、オフシーズンの誘客対策として展開してきた「うまし奈良めぐり」観光キャンペーンが令和7年度をもって役割を終えました。

当財団では、新たな展開として、質の高い旅行者をターゲットとして、奈良の魅力ある旅行商品を企画・造成してまいります。具体には、大河ドラマ「豊臣兄弟！」や世界遺産登録が期待される「飛鳥・藤原の宮都」など旬の素材、宿泊を伴う社寺での夜や朝を利用した特別拝観のほか、若草山焼きなどの伝統行事を活用してまいります。

令和8年度販売目標:6,000 千円

### 4 オンライン商品販売促進事業

旅行者が、直接予約できる自社の予約販売サイトや県内事業者が活用可能な商品在庫管理システム、外部のOTAサイトを活用することにより、県内の社寺及び事業者が実施する奈良の特色を活かした魅力ある多様な体験プログラムや物販、宿泊施設などの情報を発信、販売することにより、地域の活性化及び地域内循環へとつなげます。

自社の予約販売サイトについては、システム導入から8年が経過し、陳腐化した現行システムを最新のAI・DX基盤へと進化させてまいります。

※ 令和8年度販売目標:471 千円

## 5 奈良ファン倶楽部企画・運営事業

奈良が好きで、より深く奈良のことを学びたい方のニーズに対応するコミュニティ「奈良ファン倶楽部」の運営を行い、奈良県の旬の観光情報の提供や、奈良の歴史・文化を深掘する「解説付き特別拝観」の実施等を通じて、コアな“奈良ファン”の発掘を続けてまいります。今後とも、奈良県内への誘客や、ファン倶楽部活動の認知度の向上に努め、令和8年度も新規会員の獲得に取り組んでまいります。

## 6 奈良仏像カレンダー

コアな奈良ファンの人気商品でもある「奈良仏像カレンダー」は、県内の魅力溢れる仏像を高精細な画質で紹介するものとして制作しています。引き続き、すぐに手に取ってもらえるよう、県内や首都圏の書店などで店頭販売するとともに、オンラインショップでも同時に販売してまいります。

※ 平成8年度から制作・販売しており、令和8年度は31作目

## 7 訪日教育旅行支援事業

海外の児童・生徒が県内の学校と交流を図るとともに、県内各地を訪れることにより、互いの国際理解や国際協力推進の一助となり得ること、さらに、今後リピーターとして奈良を訪れてもらえるよう、訪日教育旅行に対して支援してまいります。

# Ⅲ M I C E誘致・開催支援事業

## 1 コンベンション開催誘致支援事業

コンベンション開催の決定権を持つ大学及び学会のキーパーソンや開催実績のある関係機関からの情報収集を行うとともに、奈良県内での学会開催に向けて、それぞれのニーズに応じたコンベンション開催支援プログラムを提案します。

また、コンベンション主催者に対する助成金として、「大規模コンベンション開催助成金（シャトルバス助成含む）」、「国内コンベンション開催助成金」、「奈良らしいMICE開催助成金（※アフターコンベンション開催助成金）」、「ICCA基準を満たす国際会議助成金」を設定し、それぞれの助成金の活用を促すとともに、開催会場への看板支援や地場産品の展示・販売、アトラクション・エクスカージョンの提案・手配等を行うことにより、奈良県内での開催動機と今後のリピート率向上に努めます。

## 2 国際コンベンション運営事業

経済効果の高い国際会議を中心とした誘致支援活動を展開するため、国際会議主催者に対して「国際コンベンション開催助成金」の活用を促し、奈良県内での開催動機と今後のリピート率向上につなげるとともに、開催会場への看板支援や参加者に提供する支援ツールの作成等、充実したコンベンション運営のサポートを実施します。

### 3 コンベンション関連団体連携事業

MICE商談会等でアプローチを図った旅行会社及びキーパーソン等を招聘し、奈良県内の魅力ある観光資源・体験プログラムを活用したファミトリップを実施することにより、インセンティブ旅行の誘致促進につなげるとともに、新たなMICEの誘客拡大を目指します。

## IV 観光まちづくり、地域づくりのための各種運営事業

### 1 奈良県観光情報サイト管理運営事業

奈良県公式観光情報サイト「あをによしなら旅ネット」を管理運営し、県内の社寺、市町村や交通事業者等から収集した観光情報を発信することにより、観光客の利便性向上や情報収集の満足度を高めるとともに、SNSによる情報発信にも積極的に取り組み、奈良ファンの創出、誘客促進につなげます。

また、情報発信から商品の購入に直接つなげ、奈良県の消費額アップに貢献してまいります。

※ 奈良県の旬の観光情報やおすすめプラン、モデルコース等の掲載

※ 掲載された情報から購入サイト（オンラインショップ）への誘導

※ 各事業と連携した企画の情報発信

※ 令和8年度目標：1,000万PV

### 2 観光インフォメーションセンター運営支援事業

東大寺などにおいて、外国人観光客等に観光案内業務を行う「奈良県観光インフォメーションセンター」を管理運営し、情報発信の強化や利便性の向上を図ります。

### 3 全国広域観光振興支援事業

公益社団法人日本観光振興協会が実施する広域連携による観光振興（観光展の開催、観光資料の作成）、人材の育成等の事業に参画します。

※ 首都圏での観光展実施

※ 観光ガイドマップ「ウェルカム関西」等への観光情報の提供

※ インスタグラマーを活用した発信、台湾におけるFacebookを活用した情報発信、SNSキャンペーンの実施

### 4 各種行事への協賛事業

奈良県内への誘客促進を図る関連団体及び各種行催事への協賛や、実行委員会等への参画により、事業や催事への側面支援を行います。

## 令和8年度収支予算書

(単位：円)

科目	R8年度 予算	R7年度 予算	増減
<b>I. 事業活動収支の部</b>			
<b>1. 事業活動収入</b>			
国庫補助金(観光庁等)	128,075,000	120,000,000	8,075,000
奈良県補助金(人件費)	97,430,000	90,382,000	7,048,000
奈良県補助金(事業費)	51,708,000	54,551,000	△ 2,843,000
奈良県観光情報サイト管理運営	6,217,000	6,217,000	0
奈良県観光情報サイト改修事業	0	17,479,000	△ 17,479,000
コンベンション開催誘致支援	21,488,000	20,338,000	1,150,000
全国広域観光振興支援	2,200,000	2,200,000	0
観光インフォメーションセンター運営支援	8,608,000	8,317,000	291,000
ビクターズビューロー運営費補助事業	10,616,000	0	10,616,000
ガイド育成事業	2,579,000	0	2,579,000
奈良市負担金	18,720,000	18,620,000	100,000
国際コンベンション開催助成金	3,100,000	3,000,000	100,000
運営事業補助	14,150,000	14,150,000	0
コンベンション関連団体との連携	1,470,000	1,470,000	0
商工会議所補助金	556,000	556,000	0
会費収入	9,631,000	9,539,000	92,000
基本財産運用収入	1,735,000	1,731,555	3,445
受託事業売上	56,500,000	68,000,000	△ 11,500,000
コンサルティング・受託事業	50,500,000	65,000,000	△ 14,500,000
旅行商品受託販売手数料	6,000,000	3,000,000	3,000,000
事業売上	42,259,000	107,600,000	△ 65,341,000
インバウンド旅行商品販売収入	30,000,000	34,000,000	△ 4,000,000
国内旅行商品販売収入	1,000,000	1,000,000	0
オンライン商品販売収入	471,000	3,000,000	△ 2,529,000
アンテナショップ販売収入	0	60,000,000	△ 60,000,000
コンベンション関連事業収入	600,000	800,000	△ 200,000
奈良ファン倶楽部会費等収入	2,238,000	2,400,000	△ 162,000
奈良仏像カレンダー販売収入	7,950,000	6,400,000	1,550,000
その他(雑収入等)	200,000	200,000	0
<b>事業活動収入合計</b>	<b>406,814,000</b>	<b>471,179,555</b>	<b>△ 64,365,555</b>

## 令和8年度収支予算書

(単位：円)

科目	R8年度 予算	R7年度 予算	増減
<b>2. 事業活動支出</b>			
魅力ある観光地域づくり(DMO)推進事業	166,579,000	240,000,000	△ 73,421,000
地域ネットワーク構築(国庫補助金関係)	122,500,000	120,000,000	2,500,000
奈良県観光キャンペーン(JR・近鉄連携含)	2,500,000	5,000,000	△ 2,500,000
ガイド育成事業	2,579,000	0	2,579,000
地域を元気にするコンテンツ企画・開発	1,000,000	0	1,000,000
コンサルティング・受託業務	38,000,000	55,000,000	△ 17,000,000
アンテナショップ	0	60,000,000	△ 60,000,000
インバウンド・国内旅行商品の造成販売	54,142,300	36,700,000	17,442,300
旅行商品の企画造成販売(インバウンド)	27,300,000	25,000,000	2,300,000
旅行商品の企画造成販売(国内旅行商品)	1,000,000	1,600,000	△ 600,000
海外誘客企画・営業事業、ファミトリップ実施	5,000,000	5,000,000	0
質の高い旅行商品企画造成販売事業	4,500,000	0	4,500,000
オンライン商品販売促進事業	6,358,300	5,100,000	1,258,300
奈良ファン倶楽部	2,554,000	1,800,000	754,000
奈良仏像カレンダー	6,930,000	6,400,000	530,000
新 訪日教育旅行支援事業	500,000	0	500,000
MICE誘致・開催支援事業	30,208,000	28,958,000	1,250,000
コンベンション開催誘致支援	21,488,000	20,338,000	1,150,000
国際コンベンション運営事業	7,250,000	7,150,000	100,000
コンベンション関連団体連携	1,470,000	1,470,000	0
観光まちづくり、地域づくりのための各種運営事業	18,026,000	35,414,000	△ 17,388,000
なら旅ネット運営事業	6,217,000	6,217,000	0
奈良県観光情報サイト改修事業	0	17,479,000	△ 17,479,000
観光インフォメーションセンター運営支援	8,608,000	8,317,000	291,000
全国広域観光振興支援	2,201,000	2,201,000	0
各種行事等への協賛	1,000,000	1,200,000	△ 200,000
管理費	139,179,000	123,832,097	15,346,903
人件費(奈良県補助)	97,430,000	90,382,000	7,048,000
人件費(奈良市補助)	10,000,000	10,000,000	0
人件費	10,093,000	16,450,097	△ 6,357,097
管理費	21,656,000	7,000,000	14,656,000
<b>事業活動支出合計</b>	<b>408,134,300</b>	<b>473,104,097</b>	<b>△ 64,969,797</b>
<b>事業活動収支差額</b>	<b>△ 1,320,300</b>	<b>△ 1,924,542</b>	<b>604,242</b>
<b>II. 投資活動収支の部</b>			
1. 投資活動収入	0	0	0
短期借入金	0	0	0
2. 投資活動支出	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
<b>III. 予備費支出</b>	0	0	0
<b>当期収支差額</b>	<b>△ 1,320,300</b>	<b>△ 1,924,542</b>	<b>604,242</b>
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>39,758,359</b>	<b>42,460,721</b>	<b>△ 2,702,362</b>
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>38,438,059</b>	<b>40,536,179</b>	<b>△ 2,098,120</b>